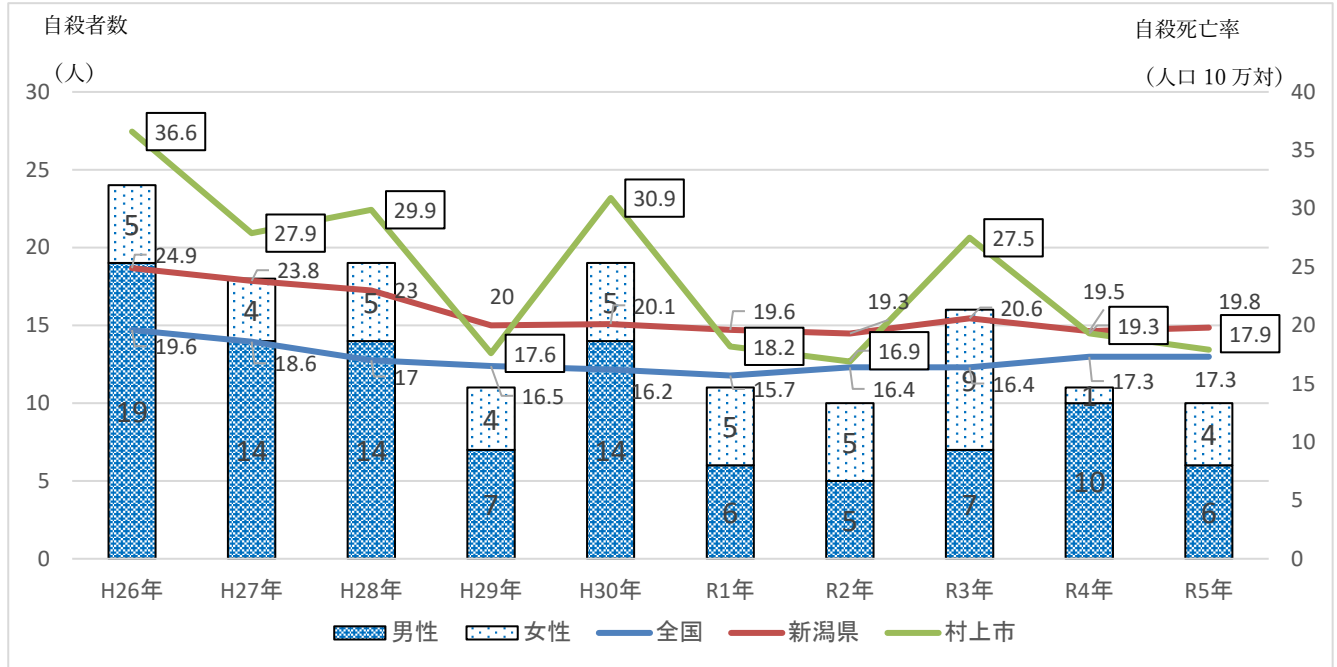


村上市の自殺の現状(平成26年～令和5年)

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

本市の自殺者数・自殺死亡率は、増減を繰り返しながら減少傾向で推移しており、令和5年は10人と前年を下回っています。

図表1 自殺者数・自殺死亡率の推移

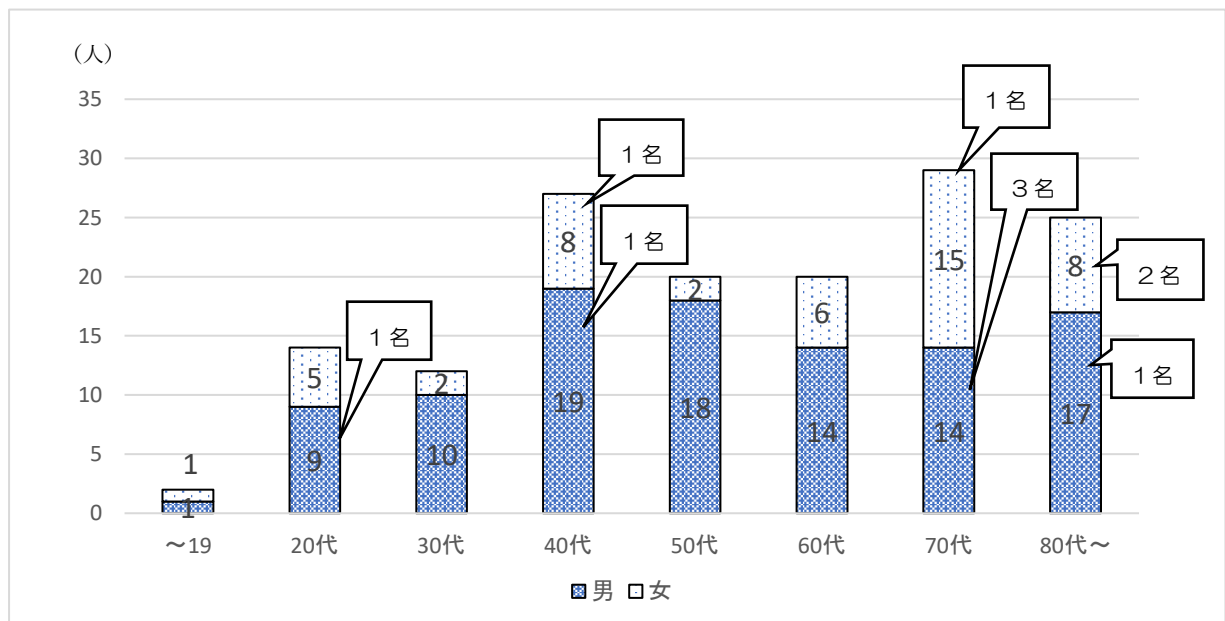


(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)

2 年代別・男女別自殺者数 ※吹き出しは令和5年の人数

男性では40歳代の働き盛り世代が最も多く、次いで50歳代、80歳以上となっています。女性では70歳代が最も多く、次いで40歳代、80歳以上の高齢者で多くなっています。性別では男性が多く、女性の2倍以上となっています。

図表2 年代別・男女別自殺者数(平成26年～令和5年)

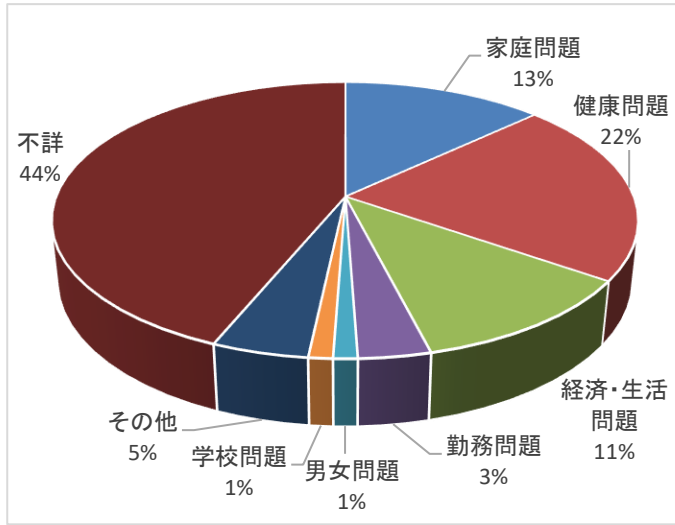


(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)

3 原因・動機別の状況

「健康問題」22%、「家庭問題」13%、「経済・生活問題」11%の順に多くなっています。

図表3 原因・動機別割合(平成26年～令和5年)

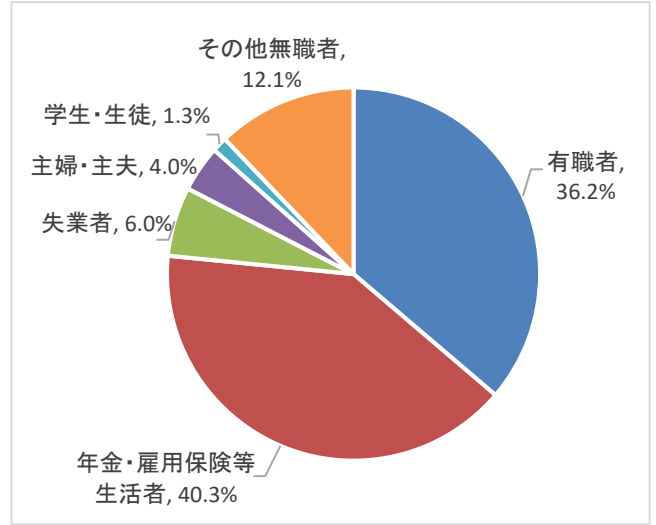


(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)

4 職業別の状況

「有職者」36.2%、「無職者」63.8%となっており、「無職者」の内訳をみると「年金・雇用保険生活者」が大部分を占めています。

図表4 職業別割合(平成26年～令和5年)



(厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」)

5 主な自殺者の特徴

本市の平成30年から令和4年までの自殺者は合計67人(男性42人/女性25人)です。自殺者を特性で分類すると以下のようになり、本市の自殺の特徴を表しています。

図表5 地域の主な自殺の特徴(平成30年～令和4年合計)

	上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合 (%)	自殺死亡率 (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路*
1位	男性/60歳以上 /無職/同居	16	23.9%	56.6	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ) +身体疾患→自殺
2位	女性/60歳以上 /無職/同居	11	16.4%	22.3	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位	男性/40～59歳 /有職/同居	6	9.0%	20.4	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み +仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位	男性/40～59歳 /無職/同居	4	6.0%	163.0	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ 状態→自殺
5位	男性/60歳以上 /無職/独居	4	6.0%	82.2	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来 生活への悲観→自殺

(いのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイルデータ」)

*「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書2013」を参考に推定したものです。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではありません。